

民事局 刑事局 検事局 會計局

第六條 民事局及刑事局を一等局と爲し、検事局を二等局と爲し、會計局を三等局と爲す

第七條 民事局は民事裁判并に裁判所設立及其管轄區域の事務を掌る

第八條 刑事局は刑事裁判并に恩赦及復讐の事務を掌る

第九條 検事局は全國檢察辯護等の事務を掌る

第十條 會計局は左の事務を掌る

一 本衙門所管の經費及諸收入の豫算決算并に會計に關する事項

二 本衙門所管官有財産及物件并に其帳簿調製に關する事項

第十一條 法務衙門に検事三員以下を置き、検事局に屬し其事務を掌る

第十二條 法務衙門に法官養成所を置き、法務衙門大臣の直轄に屬す

第十三條 法務衙門大臣は法律の制定若しくは改正修訂事項の起案を辨する爲めに委員若干名を法務衙門に置くことを得

第十四條 法務衙門主事は三人以下を以て定員と爲す

◎河野敏鎌子爵の薨去 同子爵は我司法制度の上に関歴を有してその功業も妙からず一朝脊髄炎の重症に罹り痛痒に臥すること二年有餘終に去月廿四日午後十時五分この世を辭せられぬ嗟悲矣特に記して吊慰の意を表す

◎ボ氏學士會員となる 佛國法律博士にして我立法司法上に偉大の功績を有する人といへば我法學界に籍を有するもの、誰として知らざるなき「ボアンナート」氏は去月二十三日我學士會院規則によりて同院の會員とあれり蓋し外人の同會會員とあるものは氏を以て嚆矢なりといふボ氏の榮譽羨むべし

判例彙報

第一卷 八十錢

第二卷 八十七錢

第三卷 九十錢

總テ郵税ヲ不要

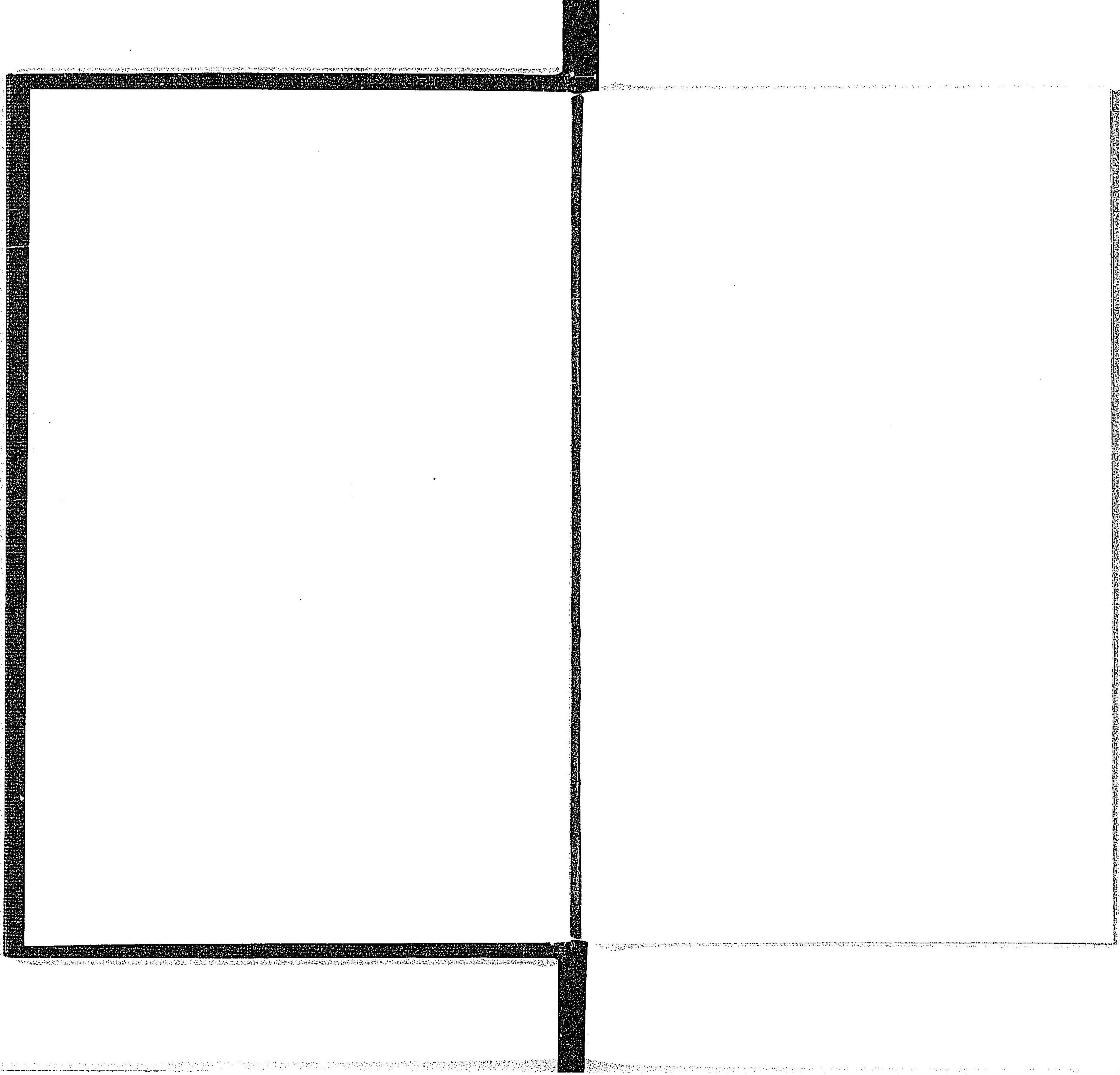


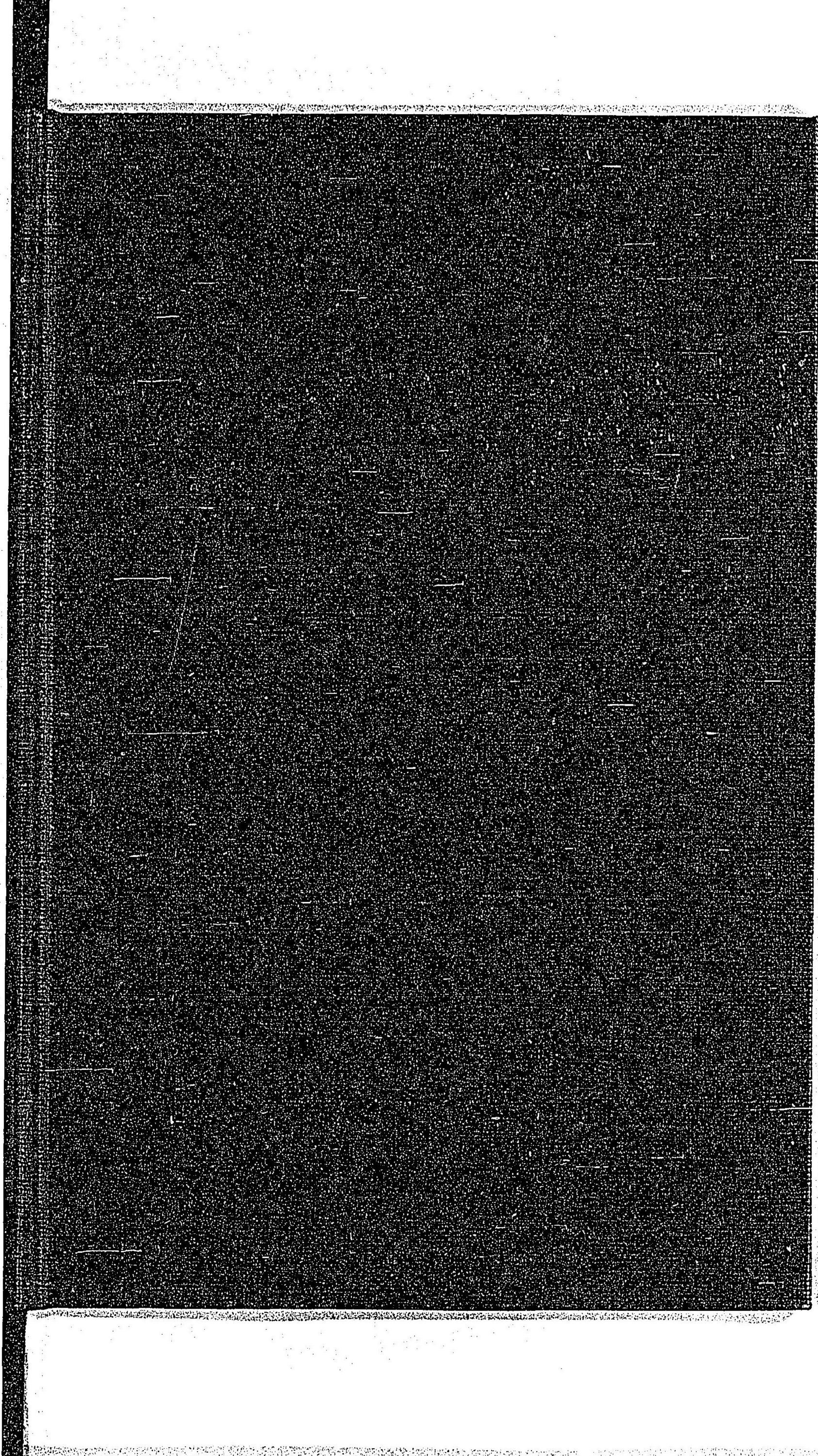
第一卷ハ明治二十七年一月以降六月ニ至ル判例彙報十一冊并ニ索引ヲ合シテ一卷ニ裝釘セルモノナリ掲クル所ノ民事判例ハ六十有六件ニシテ刑事判例ハ三十有七件

第二卷ハ明治廿七年七月以降十二月ニ至ル判例彙報十二冊并ニ索引ヲ合シテ一卷ニ製本セルモノナリ載スル所ノ民事判例ハ六十有四件ニシテ刑事判例ハ五十有三件

第三卷ハ明治廿八年一月以降六月ニ至ル判例彙報十二冊并ニ索引ヲ合シテ製本セルモノナリ載スル所ノ民事判例ハ六十有一件ニシテ刑事判例ハ五十有一件

誠ニ實務家ノ座右ニ欠クヘカラス其ノ製本ノ体裁ニ至リテハ專ラ堅牢ヲ旨トシ破損ノ憂ナキナ期シタリ而シテ三卷中二冊以上ヲ御購讀被下候御方ニハ部數ニ依リ五分乃至七分ノ割引ヲナシ猶ホ引續キ御購讀被下候諸君ニハ一冊金六錢(外ニ郵税ヲ中受ク)ノ割合ヲ以テ貴需ニ應スヘシ然レトモ部數ニ限アリ希クハ速カニ御申込アラランコトヲ





禁電子式複写

